

# 輝く功績 春の叙勲・褒章

2007年春の叙勲・褒章で市内から5名の方が受章されました。受章されたのは次の方々です。

## 叙勲

### ●旭日小綬章

よしかわ はるお  
**吉川 治甫氏** (水口町新町)

県公安委員として平成9年7月から3期9年間に在職し、委員長を3年間務められました。その間、警察の機能が正常に果たされるよう指導・監督し、警察改革に積極的に取り組まれました。



### ●瑞宝双光章

まえの きよし  
**前野喜代司氏** (土山町頓宮)

公立中学校の教諭・教頭として、また公立小・中学校長として学校の管理運営に貢献されました。県教育委員会教職員課人事主事として教育における適切な人事配置にもご尽力されました。



### ●瑞宝単光章

うえだ そうじゅ  
**上田 宗壽氏** (信楽町長野)

穴窯・登り窯での焼成による「火色」及び「自然釉」の現出を得意とし、卓越した技術で昭和54年2月に信楽焼伝統工芸士として認定されました。また技術の向上や継承にご尽力されました。



おめでとうございます  
ございます

## 褒章

### ●黄綬褒章

すぎもとしょういちろう  
**杉本正一良氏** (信楽町上朝宮)

茶の優良品種・ヤブキタをいち早く信楽町朝宮地域の茶園に導入。朝宮茶共同組合代表として品質向上や、若手への栽培指導などにご尽力され、地域を全国有数の高級茶産地に育てられました。



### ●藍綬褒章

はせがわよしまさ  
**長谷川善匡氏** (水口町鹿深)

昭和43年から現在までの長きにわたり、民生委員・児童委員として地域住民の福祉向上に尽くしておられます。また現在、県民生委員・児童委員指導員としてもご活躍されています。



望月 保氏 (土山町前野) がこのほど、財団法人伝統文化国民活性化協会 (平山郁夫会長) から「地域伝統文化功労者」として表彰されました。

望月氏は「瀧樹神社ケンケト踊り保存会」会長を発足以来20年にわたり務められ、その間、貴重な民俗芸能を保存し、これを継承するために、調査研究、用具の復元新調、映像記録、執筆講演活動などにご尽力いただきました。今回の受賞は、こうした長年の地道な活動が認められたものです。

瀧樹神社ケンケト踊りは毎年5月3日に行われ、美しい山鳥の羽で着飾った子どもたちが鉦の音に合わせて踊る風流の芸能で、国の無形民俗文化財に選択されています。望月氏のみますますのご活躍をお祈りします。



地域伝統文化功労者表彰

瀧樹神社ケンケト踊り保存会会長

望月 保氏

もちつき たもつ

たもつ